

5月は16%増の192万TEU

■アジア発米国向け、関税政策の反動で

日本海事センターが23日に発表した5月のアジア18カ国・地域発米国向け東航コンテナ荷動き量（速報値）は、前年同月比16.2%増の191万7246TEUとなった。9カ月ぶりに前年同月を上回った。2025年5月は米国と中国の関税引き上げの影響で大きく減少していたが、今年は反動で大幅なプラスとなった。これにより、今年1～5月累計の荷動き量は前年同期比2.2%減の886万8054TEUとなった。

5月の積み地国・地域別コンテナ輸送量は表のとおり。日本海事センターがPIERSのデータをもとに毎月作成しているもので、速報値ベースでの発表のため後日修正が加わる場合がある。

5月の国・地域別の輸送量は、中国出しが29.9%増の97万1143TEUとなり、13カ月ぶりにプラスとなった。一方で、日本出しは11.6%減の4万9631TEU、韓国出しが8.8%減の11万1822TEU、台湾出しが16.5%減の5万170TEUとなり、中国を除く北東アジア出しは落ち込んだ。アセアン出しは14.1%増の58万8118TEUとなった。このうち物量の多いベトナム出しは9.3%増の30万9125TEU、タイ出しは24.3%増の12万1577TEUとなった。南アジア出しは1.0%減の14万2355TEUと減少した。インド出しが2.8%減の

11万1598TEUと落ち込んだことが影響した。

品目別では、家具・寝具などが22.3%増の31万8940TEU、機械類が21.3%増の20万7981TEU、プラスチック・その製品が35.7%増の19万1576TEU、繊維類およびその製品が21.8%増の16万1421TEU、電気機器・AV機器などが10.3%増の13万8684TEUとなった。

5月の米国内地域別荷動きの構成比は、西岸向けが51.9%（4月は56.3%）、東岸向けが34.2%（同32.1%）、ガルフ向けが8.7%（同7.6%）、その他が5.2%（同4.0%）となった。

日本海事センターがドゥルーリーのデータに基づいて発表したアジア発米国向けの5月のコンテナ運賃水

2026年5月のアジア発米国向け国・地域別荷動き

	5月			1～5月累計	
	荷動き(TEU)	前年同月比(%)	シェア(%)	荷動き(TEU)	前年同月比(%)
18カ国・地域合計	1,917,246	16.2	100.0	8,868,054	▲2.2
日本	49,631	▲11.6	2.6	268,229	▲3.5
韓国	111,822	▲8.8	5.8	529,384	▲7.9
台湾	50,170	▲16.5	2.6	250,640	▲12.1
中国+香港	975,148	29.7	50.9	4,287,549	▲8.6
(中国)	971,143	29.9	50.7	4,269,057	▲8.5
(香港)	4,005	▲2.3	0.2	18,492	▲19.9
マカオ	0	▲98.1	0.0	11	▲91.4
アセアン計	588,118	14.1	30.7	2,897,400	14.3
(シンガポール)	11,461	▲13.2	0.6	56,494	▲8.2
(フィリピン)	12,683	8.4	0.7	58,658	0.2
(マレーシア)	43,566	7.5	2.3	222,942	7.1
(インドネシア)	53,188	16.1	2.8	282,317	11.4
(タイ)	121,577	24.3	6.3	606,224	22.6
(ベトナム)	309,125	9.3	16.1	1,485,531	11.2
(カンボジア)	35,666	58.1	1.9	180,652	52.3
(ミャンマー)	852	▲19.8	0.0	4,583	▲8.4
南アジア計	142,355	▲1.0	7.4	634,840	▲10.3
(スリランカ)	7,237	9.2	0.4	35,004	5.5
(バングラデシュ)	11,938	28.5	0.6	62,446	5.4
(パキスタン)	11,582	▲11.2	0.6	55,384	▲12.2
(インド)	111,598	▲2.8	5.8	482,006	▲12.7

準は、上海発ロサンゼルス向けが前年同月比6.6%増の3477ドル/FEU、上海発ニューヨーク向けが3.4%増の4472ドル/FEUだった。横浜発ロサンゼルス向けは29.3%増の4690ドル/FEU、横浜発ニューヨーク向けは38.8%増の6341ドル/FEUとなった。いずれも4月と比べて運賃水準が上昇している。

日本海事センターは、「5月は主要品目を中心に荷動き量を押し上げた。米国通商代表部(USTR)による追加関税案への不確実性に対する前倒し需要が発生している。需要の増加を受けて運賃が上昇している」と説明した。